

5章 三角形と四角形 5-3 平行四辺形

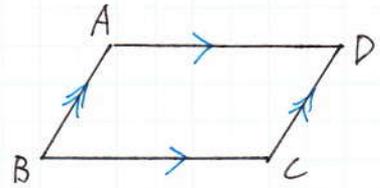
数2-5-3(1)

四角形の向かい合う辺を**対辺**, 向かい合う角を**対角**という。

平行四辺形の定義

2組の対辺がそれぞれ平行な四角形

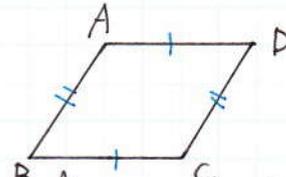
$$AB \parallel CD, AD \parallel BC$$



平行四辺形の性質

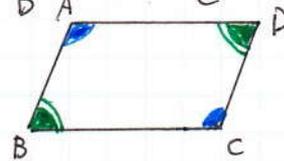
定理 ① 2組の対辺はそれぞれ等しい

$$AB = CD, AD = BC$$



② 2組の対角はそれぞれ等しい

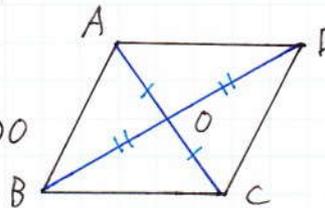
$$\angle A = \angle C, \angle B = \angle D$$



③ 対角線はそれぞれの

中点で交わる

$$AO = CO, BO = DO$$

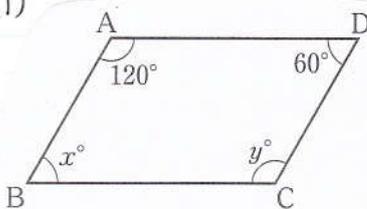


数2-5-3(2)

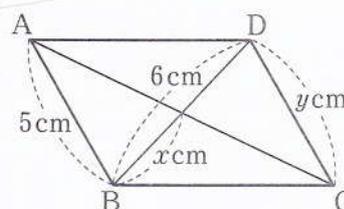
下の(1), (2)の $\square ABCD$ で, x, y の値を求めなさい。また, そのときに使った平行四辺形の性質をいいなさい。

平行四辺形 $ABCD$ を $\square ABCD$ と表すことがあります

(1)



(2)



5章 三角形と四角形 5-3 平行四辺形

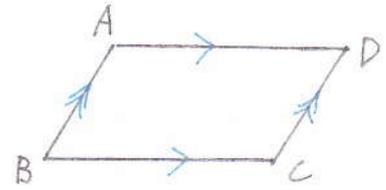
数2-5-3(1)

四角形の向かい合う辺を対辺, 向かい合う角を対角という。

平行四辺形の定義

2組の対辺がそれぞれ平行な四角形

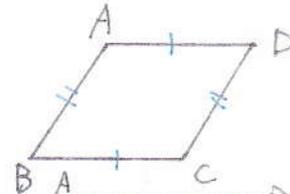
$$AB \parallel CD, AD \parallel BC$$



平行四辺形の性質

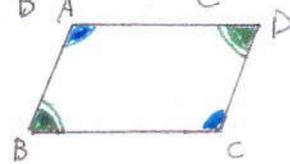
定理 ① 2組の対辺はそれぞれ等しい

$$AB = CD, AD = BC$$



② 2組の対角はそれぞれ等しい

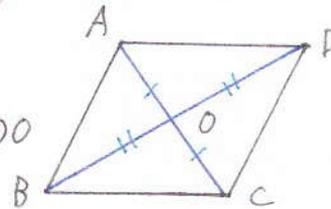
$$\angle A = \angle C, \angle B = \angle D$$



③ 対角線はそれぞれの

中点で交わる

$$AO = CO, BO = DO$$



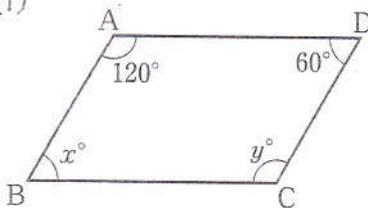
数2-5-3(2)

1

下の(1), (2)の $\square ABCD$ で, x, y の値を求めなさい。また, そのときに使った平行四辺形の性質をいいなさい。

平行四辺形 $ABCD$ を $\square ABCD$ と表すことがあります

(1)

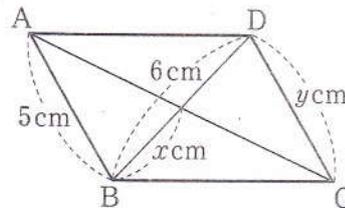


$$\angle x = 60^\circ$$

$$\angle y = 120^\circ$$

対角は等しい

(2)



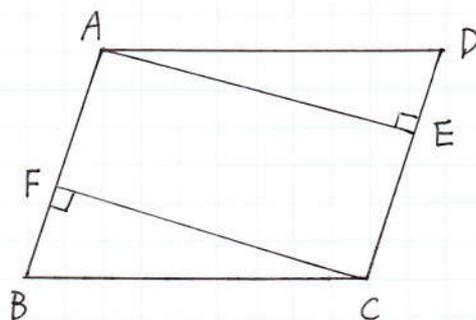
$$x = 3 \text{ cm}$$

対角線は中点で交わる

$$y = 5 \text{ cm}$$

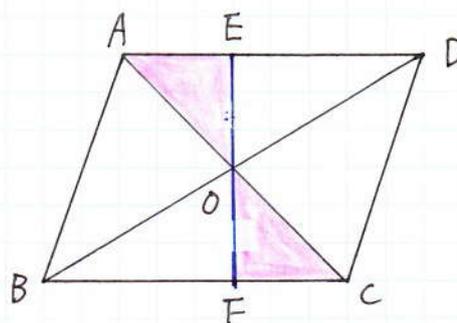
対辺は等しい

2 右の図の $\square ABCD$ で、点 A, C から
 辺 CD, AB 上に垂線 AE, CF をひきます。
 このとき、 $AE = CF$ となることを
 証明しなさい。

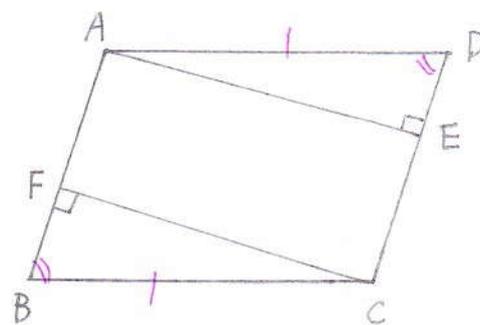


直角三角形の合同条件
 を使うよ!

3 $\square ABCD$ の対角線の交点を O とし、
 O を通る直線が AD, BC と交わる点を
 E, F とすると、 $OE = OF$ となります。
 このことを証明しなさい。



2 右の図の $\square ABCD$ で、点 A, C から
 辺 CD, AB 上に垂線 AE, CF をひきます。
 このとき、 $AE = CF$ となることを
 証明しなさい。



直角三角形の合同条件
 を使うよ!

$\triangle AED$ と $\triangle CFB$ において

対辺は等しいので $AD = CB$ --- ①

対角は等しいので $\angle D = \angle B$ --- ②

仮定より $\angle AED = \angle CFB = 90^\circ$ --- ③

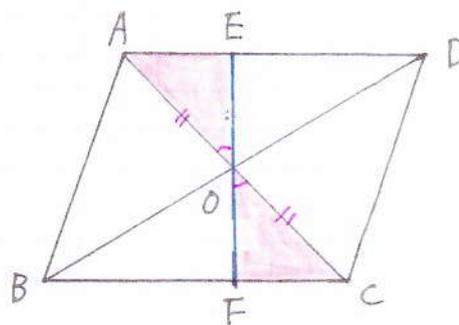
①, ②, ③より

直角三角形で、斜辺と1つの鋭角がそれぞれ等しいので

$$\triangle AED \equiv \triangle CFB$$

$$\text{よって } AE = CF$$

3 $\square ABCD$ の対角線の交点を O とし、
 O を通る直線が AD, BC と交わる点を
 E, F とすると、 $OE = OF$ となります。
 このことを証明しなさい。



$\triangle AOE$ と $\triangle COF$ において

対角線は中点で交わるので

$$AO = CO \text{ --- ①}$$

対頂角は等しいので

$$\angle AOE = \angle COF \text{ --- ②}$$

$AD \parallel BC$ より

$$\angle OAE = \angle OCF \text{ --- ③}$$

①, ②, ③より

1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しいので

$$\triangle AOE \equiv \triangle COF$$

$$\text{したがって } OE = OF$$

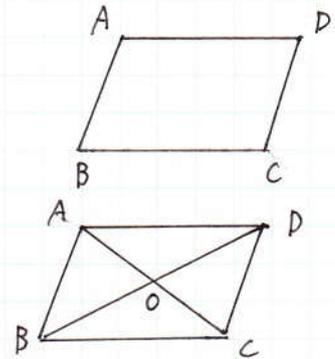
平行四辺形になるための条件

次のどれかが成り立てば、四角形は平行四辺形である。

- ① 2組の対辺がそれぞれ平行である。... 定義
 - ② 2組の対辺がそれぞれ等しい。
 - ③ 2組の対角がそれぞれ等しい。
 - ④ 対角線がそれぞれの中点で交わる。
 - ⑤ 1組の対辺が平行で、その長さが等しい。
- ②~④は 平行四辺形の性質 (定理)
- ⑤は 1つ追加がコソ!

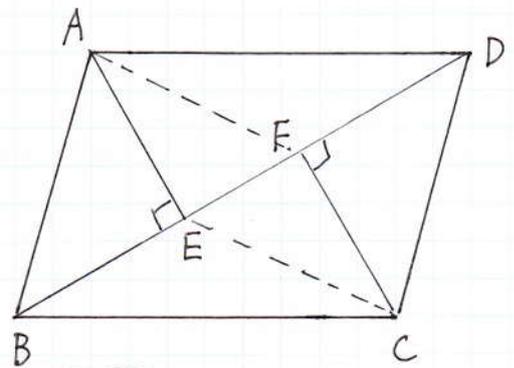
4 次の四角形ABCDで、いつでも平行四辺形になるものは、どれですか。(右図を利用しよう)

- ㊶ $AB = DC, AD = BC$ ㊶ $\angle A = \angle B, \angle C = \angle D$
- ㊷ $AO = CO, BO = DO$ ㊷ $AO = BO, CO = DO$
- ㊸ $AB \parallel DC, AD = BC$ ㊸ $AD \parallel BC, AD = BC$



5 $\square ABCD$ の頂点 A, C から対角線 BD に垂線 AE, CF をひくと、四角形 AECF は平行四辺形になります。

このことを証明しよう。



考え方

$AE = CF$
 $AE \parallel CF$
 を証明すればよい

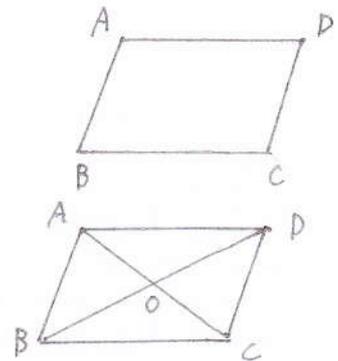
平行四辺形になるための条件

次のどれかが成り立てば、四角形は平行四辺形である。

- ① 2組の対辺がそれぞれ平行である。... 定義
- ② 2組の対辺がそれぞれ等しい。 ②~④は
- ③ 2組の対角がそれぞれ等しい。 平行四辺形の性質
- ④ 対角線がそれぞれの中点で交わる。 (定理)
- ⑤ 1組の対辺が平行で、その長さが等しい。 ←1つ追加がコソ!

4 次の四角形ABCDで、いつでも平行四辺形になるものは、どれですか。(右図を利用しよう)

- ㉠ $AB = DC, AD = BC$ ㉡ $\angle A = \angle B, \angle C = \angle D$
- ㉢ $AO = CO, BO = DO$ ㉣ $AO = BO, CO = DO$
- ㉤ $AB \parallel DC, AD = BC$ ㉥ $AD \parallel BC, AD = BC$



㉠, ㉢, ㉤

5 $\square ABCD$ の頂点 A, C から対角線 BD に垂線 AE, CF をひくと、四角形 AECF は平行四辺形になります。

このことを証明しよう。

$\triangle ABE$ と $\triangle CDF$ において

- $AB = DC$ (対辺) ... ㉠
- $\angle AEB = \angle CFD = 90^\circ$... ㉡
- $\angle ABE = \angle CDF$ (平行線に錯角) ... ㉢

㉠, ㉡, ㉢より

直角三角形で、斜辺と1つの鋭角がそれぞれ等しいから

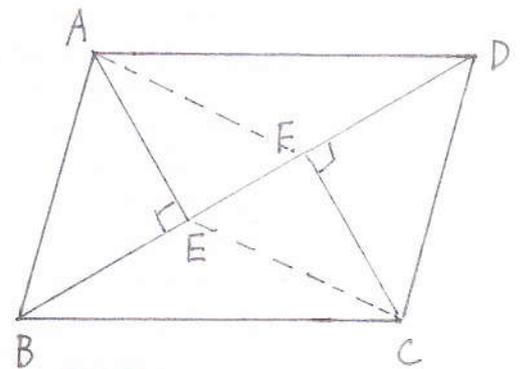
$\triangle ABE \cong \triangle CDF$

よって $AE = CF$... ㉣

また $\angle AEF = \angle CFE = 90^\circ$

錯角が等しいので $AE \parallel CF$... ㉤

㉣, ㉤より 1組の対辺が平行で、その長さが等しいので、四角形 AECF は平行四辺形になります。



考え方

$AE = CF$
 $AE \parallel CF$

を証明すればいい

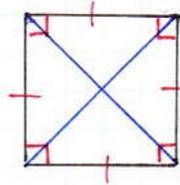
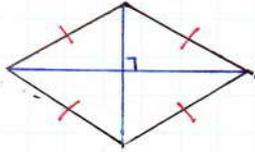
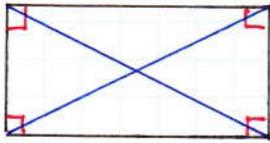
特別な平行四辺形

長方形, ひし形, 正方形は, 平行四辺形の特別な場合ですべて平行四辺形の性質をもっている。

長方形の定義 --- 4つの角がすべて直角である四角形

ひし形の定義 --- 4つの辺がすべて等しい四角形

正方形の定義 --- 4つの角がすべて直角で
4つの辺がすべて等しい四角形

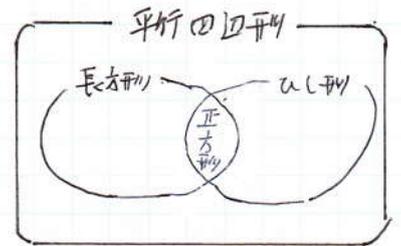


対角線の性質

長方形の対角線は等しい

ひし形の対角線は垂直に交わる

正方形の対角線は等しく, 垂直に交わる

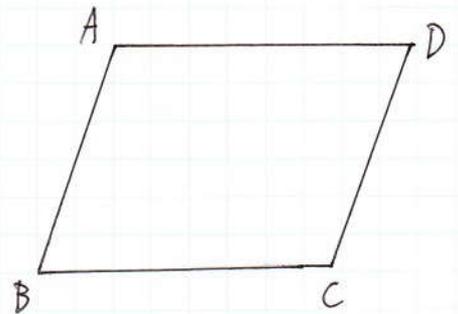


6 $\square ABCD$ に, 次の条件を加えると,
どんな四角形になりますか。

(1) $AB = BC$ (2) $\angle A = 90^\circ$

(3) $AC = BD$ (4) $AB = BC, \angle A = \angle B$

(5) $AC \perp BD$ (5) $AC = BD, AC \perp BD$



特別な平行四辺形

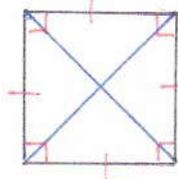
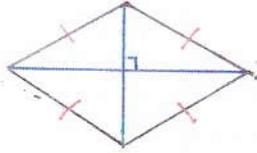
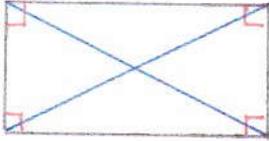
長方形, ひし形, 正方形は, 平行四辺形の特別な場合ですべて平行四辺形の性質をもっている。

長方形の定義 --- 4つの角がすべて直角である四角形

ひし形の定義 --- 4つの辺がすべて等しい四角形

正方形の定義 --- 4つの角がすべて直角で

4つの辺がすべて等しい四角形

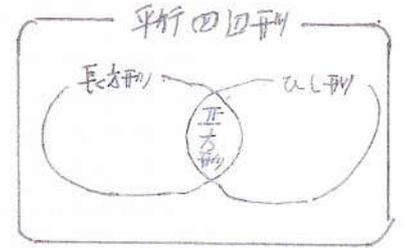


対角線の性質

長方形の対角線は 等しい

ひし形の対角線は 垂直に交わる

正方形の対角線は 等しく, 垂直に交わる



6 $\square ABCD$ に, 次の条件を加えると, どのような四角形になりますか。

(1) $AB = BC$

ひし形

(2) $\angle A = 90^\circ$

長方形

(3) $AC = BD$

長方形

(4) $AB = BC, \angle A = \angle B$

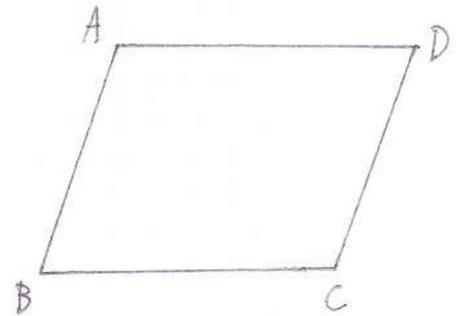
正方形

(5) $AC \perp BD$

ひし形

(5) $AC = BD, AC \perp BD$

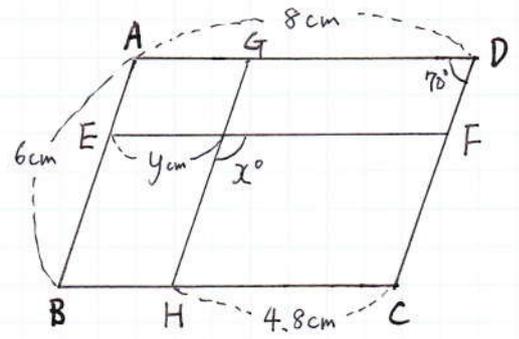
正方形



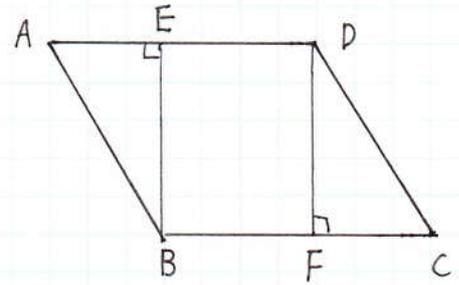
補充問題

数2-5-3補(1)

- 1 右の $\square ABCD$ で、 $AB \parallel GH$ 、 $AD \parallel EF$ のとき、 x 、 y の値を求めなさい。

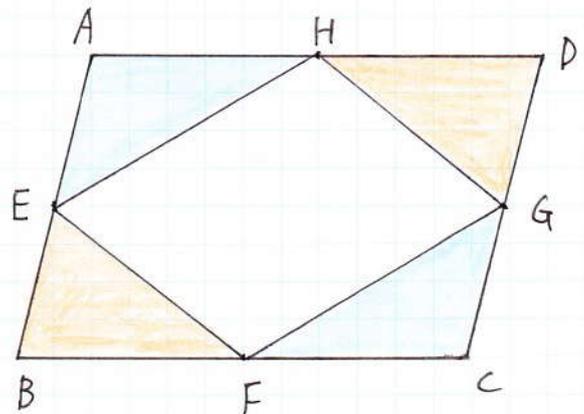


- 2 $\square ABCD$ の頂点 B 、 D から垂線 BE 、 DF をひくとき、 $AE = CF$ である。このことを証明しなさい。



- 3 $\square ABCD$ において、各辺の中点をそれぞれ E 、 F 、 G 、 H とするとき、四角形 $EFGH$ は平行四辺形になる。このことを証明しなさい。

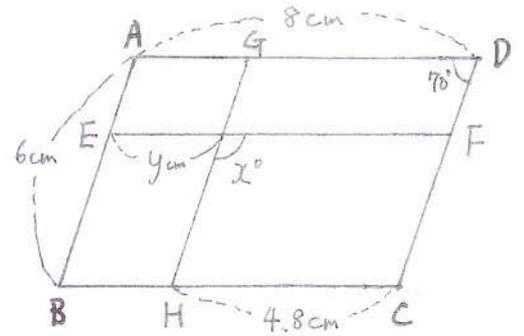
数2-5-3補(2)



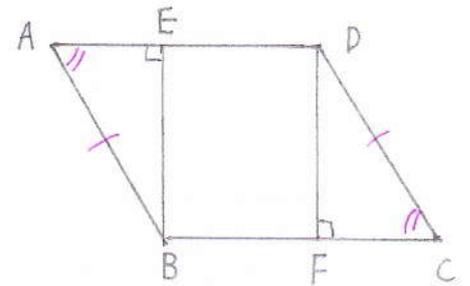
補充問題

1 右の $\square ABCD$ で、 $AB \parallel GH$ 、 $AD \parallel EF$ のとき、 x 、 y の値を求めなさい。

$x \dots 110^\circ$
 $y \dots 3.2 \text{ cm}$



2 $\square ABCD$ の頂点 B 、 D から垂線 BE 、 DF をひくとき、 $AE = CF$ である。このことを証明しなさい。



$\triangle AEB$ と $\triangle CFD$ において

$$\begin{cases} AB = CD \text{ (対辺)} \\ \angle A = \angle C \text{ (対角)} \\ \angle AEB = \angle CFD = 90^\circ \end{cases}$$

直角三角形で、斜辺と1つの鋭角がそれぞれ等しいので

$\triangle AEB \cong \triangle CFD$

よって $AE = CF$

3 $\square ABCD$ において、各辺の中点をそれぞれ E 、 F 、 G 、 H とするとき、四角形 $EFGH$ は平行四辺形になる。

このことを証明しなさい。

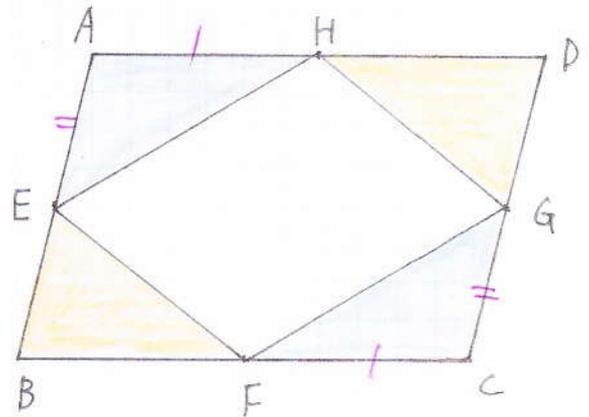
$\triangle AEH$ と $\triangle CGF$ において

$$\begin{aligned} AD &= CB \text{ (対辺)} \dots \textcircled{1} \\ AH &= DH \text{ (仮定)} \dots \textcircled{2} \\ CF &= BF \text{ (仮定)} \dots \textcircled{3} \end{aligned}$$

$\textcircled{1}$ 、 $\textcircled{2}$ 、 $\textcircled{3}$ より $AH = CF \dots \textcircled{4}$

また $AB = CD \text{ (対辺)} \dots \textcircled{5}$
 $AE = BE \dots \textcircled{6}$
 $CG = DG \dots \textcircled{7}$

$\textcircled{5}$ 、 $\textcircled{6}$ 、 $\textcircled{7}$ より $AE = CG \dots \textcircled{8}$
 $\angle A = \angle C \text{ (対角)} \dots \textcircled{9}$



$\textcircled{4}$ 、 $\textcircled{8}$ 、 $\textcircled{9}$ より
 2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい
 $\triangle AEH \cong \triangle CGF$
 よって $EH = GF \dots \textcircled{10}$

同様に $\triangle BFE \cong \triangle DHG$ より
 $EF = GH \dots \textcircled{11}$

$\textcircled{10}$ 、 $\textcircled{11}$ より 四角形 $EFGH$ で
 2組の対辺がそれぞれ等しいから
 四角形 $EFGH$ は 平行四辺形 になる。